

会員各位

日本液化石油ガス協議会

液石法施行規則等の一部改正に対する意見募集について（お知らせ）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協議会の業務につき、多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、経産省のホームページに掲載されましたので、お知らせいたします。

本件は、経産省の液化石油ガス小委員会での議論等を踏まえ、ガス事業法、高圧ガス保安法との規制の整合化及び安全性の技術導入の迅速化に向けた性能規定化等により、液石法施行規則等の一部改正が検討されていることから、意見募集が行われたものです。

意見募集の概要（主なもの）につきましては下記1. の記載をご覧くださいとともに、詳細な改正案につきましては下記2. に記載の経産省ホームページをご参照ください。

なお、本改正につきましてご意見がある場合は、同ホームページの意見提出フォーム等によりご提出（平成29年3月12日締切）をいただくとともに、当協議会にもその内容をご送付くださいますようお願いいたします。

敬具

記

1. 意見募集の概要（主なもの）

（1）「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則」の新旧対照表

- ・ ガスメーターの規定について、供給・消費・特定供給設備告示の内容を例示基準化するため改正（規則第18条関係）
- ・ 「機能を損なうおそれのある腐しよくが生じないもの」（腐しよく測定による抵抗値が10Ω以上）の白ガス管の点検・調査頻度の緩和（規則第36条及び第37条関係）
- ・ 末端ガス栓と燃焼器の接続について、供給・消費・特定供給設備告示の内容を例示基準化するため改正（規則第44条関係）
- ・ 貯蔵能力10,000kg以上のバルク貯槽と保安物件との離隔距離規制の追加（規則第54条関係）
- ・ 「処理能力の変更を伴わない取替え」を軽微な変更として届出対象に緩和（規則第66条関係）

（2）「供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技術基準等の細目を定める告示」の新旧対照表

- ・ 貯槽に設置すべき圧力計について、例示基準化するため一部削除（第2条関係）

- ・ ガスメーターの機能について、例示基準化するため削除（第 7 条関係）
- ・ 硬質管等の規格について、例示基準化するため削除（第 8 条関係）
- ・ 末端ガス栓と燃焼器との接続方法について、上記第 8 条の例示基準化に合わせて基準を見直し（第 10 条関係）

(3) 「バルク供給及び充てん設備に関する技術上の基準等の細目を定める告示」の新旧対照表

- ・ バネ式安全弁について、例示基準化するため一部削除（第 3 条関係）

(4) 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について」の新旧対照表

- ・ 上記 1. の規則第 3 6 条、第 3 7 条の改正に伴い解釈を追加
- ・ 上記 1. の規則第 6 6 条に第 2 号を新設したため引用条項を変更

(5) 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の機能性基準の運用について」の新旧対照表

- ・ 最大消費数量を供給しうる調整器及び消費する液化石油ガスに適合した調整器（一部改正）（例示基準 2 7）
- ・ 供給管等の適切な材料及び使用制限、腐食及び損傷を防止する措置（引用の変更）（例示基準 2 8）
- ・ 圧力計及び許容圧力以下に戻す安全弁（新設）（例示基準 4 3）
- ・ ガスメーターの機能（新設）（例示基準 4 4）
- ・ 末端ガス栓と燃焼器を接続するための硬質管等の材料及び構造（新設）（例示基準 4 5）
- ・ バルク貯槽の許容圧力以下に戻す安全弁（例示基準 4 6）

(6) 「供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技術基準等の細目を定める告示第 1 1 条の燃焼器と接続されないで設置されている末端ガス栓の設置方法について」の新旧対照表

- ・ 告示第 1 1 条の燃焼器と接続されないで設置されている末端ガス栓の設置方法の廃止
- ・ 末端ガス栓と燃焼器の接続に用いる管等の組み合わせを新たに規定
- ・ 「直接ねじにより接続されていること。」の解釈を規定

2. 経産省ホームページ掲載アドレス

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595117020&Mode=0>

以 上

（発信手段：Eメール）

（担当者：飯田・岩田）